

平成26年 11月 5日
在ポルトガル日本国大使館

東大使からのメッセージ

夏時間も終わり、秋も深まりを見せる今日この頃、皆様におかれましては、御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

10月には、「安倍総理ポルトガル訪問のフォローアップ」として、「日本の書展」及び「コロキアム：日本・ポルトガル・欧州連合(EU)協力」が開催されました。また、「コロキアム」開催にあわせて「JETRO ビジネス・ミッションのポルトガル視察訪問」が実施されました。

◎「日本の書展」

10月9日「日本の書展」のオープニング（於：カールスト・グルベンキアン財団）で私の挨拶でも述べましたとおり、これだけの大規模な「日本の書展」は、ポルトガルでは初めての開催となるものです。

日本とポルトガルの長い交流の歴史において、史上初の現職総理のポルトガル訪問（5月）や日本のCPLP（ポルトガル語圏諸国共同体）オブザーバー加盟（7月）等、日本とポルトガルの両国にとって、歴史的に意義深く重要な本年に、このような芸術性の高い事業を開催できましたことは、まさに時宜を得たものであり、安倍総理ポルトガル訪問の際に発出された「共同コミュニケ」にある「相互理解の促進」に大きく寄与するものであると確信しております。

「書」は日本文化の結晶であり、日本芸術の神髄を紹介する同展覧会の開催は、両国間の歴史的な友好関係がこの先もより長く、友情と文化交流に満ちたものへとなるよう導いてくれるものと期待しております。

「日本の書展」は、12月まで開催しておりますので、皆様にも是非御覧になって頂ければ幸甚に存じます。

なお、「日本の書展」の概要、及びオープニングの様様については、この「大使館便り」の「4. 広報・文化関係」の項目を御参照下さい。

◎講演・討論会「コロキウム：日本・ポルトガル・欧州連合（EU）協力」の開催

10月28日（火）、日本国大使館はポルトガル外務省と共催で講演・討論会「コロキウム：日本・ポルトガル・欧州連合（EU）協力」を開催しました。

この「コロキウム」は、安倍総理のポルトガル訪問に際し、日ポルトガル首脳会談において、両国首脳が「日本とポルトガル、日本とEUとの間で政治、経済、文化の面で相互理解と協力を一層進めるために会合を開催する」ことで一致したことを受けて、開催の運びとなったものです。

「コロキウム」は、ルイ・マシェッテ外務大臣と私による開会の辞で始まりました。ここで私は岸田文雄外務大臣より寄せられたメッセージを代読して披露しました。

この「コロキウム」は、大きな関心を呼び、平日の日中の開催であったにもかかわらず、当地の政府、議会、経済界、学術研究組織、報道機関、外交団・国際機関などから、高いレベルでの参加があり、約120名の参加者を得て会場は終日ほぼ満席となりました。

この「コロキウム」では、我が国、ポルトガル、EUから高い見識と豊かな経験を持つ出席者を得て、高い水準の忌憚のない討議を行うことが出来ました。ポルトガル側にとっても、このように大規模な知的交流行事を外国大使館と行ったことは初めての由であり、これを成功裡に実施出来たことは二国間関係上も、極めて有意義であったと考えています。

今般の「コロキウム」で示された考え方やアイデアは、今後、来年初めにも想定されるパソス・コエーリョ首相の日本公式訪問に向けて、日ポルトガル関係、日EU関係を一層前進させていく上で、有効に活用して行きたいと存じます。

なお、「コロキウム」概要については、この「大使館便り」の2. を参照下さい。また岸田文雄外務大臣より寄せられたメッセージを含む私の開会の辞は当館ホームページを参照下さい。

◎JETRO ビジネス・ミッションのポルトガル視察訪問

「コロキウム」開催準備中にポルトガル側から示された、二国間経済関係（特にビジネス交流）への強い関心にも配慮し、「コロキウム」の開催時期に合わせて、パリジェトロの協力を得て、在欧州日本企業ミッションのポルトガル視察訪問を実施頂きました。「コロキウム」においてもパリジェトロ所長のプレゼンやミッションメンバーとして、パリ、ロンドン、マドリッド等在欧州日本企業から25名の方に参加頂きました。

また、28日夜に私は、公邸にてレセプションを主催し、コロキウム関係者のみならず、このジェトロミッション参加企業と当地ポルトガル日本商工会議所の代表も招待して、交流推進を図りました。

なお、このレセプションにはマサンエス外務副大臣、ペレイラ欧州議会議員なども出席しました。

同企業ミッション来訪の機会に、29日、安倍総理ポルトガル訪問の際の「共同声明」にJETRO(日本貿易振興機構)との協力促進が言及されているAICEP(ポルトガル投資貿易振興機構)がセミナーを実施し、ポルトガルに対する投資の魅力やポルトガルの優良企業4社によるプレゼンテーションを行いました。

また、ジェットロミッション一行は、「大陸棚延長機構」(EMEPC)や「シャンパリモー財団」を訪問しました。

更に、一行は、ポルトガル語圏諸国共同体(CPLP)・ビジネス連盟主催のコクテルに出席しました。こうして、ポルトガル語圏諸国共同体・ビジネス連盟加盟企業と日本企業の初めての出会いが実現しました。

次いで、30日、同ビジネスミッション一行は、「シーネス港」やベージャに本部がある「アルケヴァ開発・インフラ整備公社」及びアルケヴァ農業開発地域を視察しました。

私も一行に同行しましたが、今後の日本とポルトガルの貿易・投資関係促進にとり、極めて有益な訪問となりました。また、日本のCPLP(ポルトガル語圏諸国共同体)オブザーバー加盟(7月)以降、初めて、ポルトガル語圏諸国共同体・ビジネス連盟加盟企業と日本企業の出会いが実現したことは、大きな意義があったと感じています。

参加日本企業の方々からも、今後の各社の事業展開に当たって、「ポルトガルとの貿易・投資関係促進について、新しいアイデアが浮かんだ」、「今後の事業展開に当たって、ポルトガルをゲートウェイとして、「EU諸国」更には「CPLP(ポルトガル語圏諸国共同体)諸国」での活動も視野に入れていきたい」との心強い反応を頂きました。

このように、10月には、「安倍総理ポルトガル訪問のフォローアップ」として、政治、経済、文化面で、両国関係にとり重要な進展を見ることができましたが、今後、コエーリョ首相の訪日に向けて、両国関係強化の具体策について皆様とも引き続き御相談致したく、御協力の程宜しくお願い致します。

11月に入り、季節の変わり目となりますが、皆様におかれましては、御自愛の上御活躍されますようお祈り申し上げます。